

QSK 福精連

公益社団法人福岡県精神保健福祉会連合会
〒812-0046
福岡県福岡市博多区吉塚本町13-50
電話092-292-0560 F A X 092-292-0561
e-mail: fksr1974@fukuseiren.com
http://www.fukuseiren.com/
No. 126 令和8年7月1日

医療費助成制度拡大のために

会長 檜橋 恭一

全国精神保健福祉会連合会（みんなねっと）が「精神医療福祉への提言」発表して3年が過ぎました。みんなねっとでは、その提言を具現化するために日本精神科病院協会と定期的な懇談会を重ねており、本年度は、みんなねっとからも国の診療報酬改定に対する要望が行われました。また日本精神神経科診療所協会とも先日、第1回目の懇談が行われています。

福精連としても「提言」の中にある「精神障害者の医療費助成制度の拡大」の要望に取り組んでいるところでありますが、精神障がい者の方たちは、生活困窮者が多く、受診したくてもできない状況にあります。何とか2級まで拡大して欲しいものです。

福岡県の医療費助成制度は、「三障がいの重度」を対象としており、精神は1級のための、手帳所持者全体のわずか5%程度しかカバーされていません。しかし、2級の中にも就労が難しく、収入は障害年金だけが頼りという方も多く、治療費も出す余裕はありません。また、精神科の入院費は重度でも対象外となり、高額療養費の限度額認定をしても大きな負担になり、入院はできない事態を招いています。家族がいる人でも家族への負担が大きく押し掛かっています。是非とも医療費で苦しむ人の救済をして欲しいものです。

今後は、福岡県精神科病院協会との連携が必要と考えます。医療費助成だけでなく、「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の観点から考えても福精連との連携強化は重要だと思います。当事者が地域で安心して暮らすために医療は切ることのできない大切な社会資源であり、医療が無ければ当事者は生きていきません。医療費助成制度は人の命に直結した制度だと言っても過言ではないと思います。「みんなねっと」に習って福精連との意見交換をして、医療費助成拡大実現の道を探っていけたらと思います。



【ご案内】第8回 福精連大会

日時：令和8年8月28日（金） 13:30～16:30

会場：ウエル戸畑 多目的ホール

内容：講演：「精神障害者ケアの脱家族化」
～本人と親双方の自己実現を志向する実践～

講師：塩満 卓 氏（佛教大学教授）

家族会・事業所事例発表

参加費：正会員・当事者無料 /
賛助会員1,000円 / 一般2,000円

申込締切：8月21日（金）

申込方法：FAX（092-292-0561）または
メール（fksr1974@fukuseiren.com）



この機関紙【福精連】は、共同募金の配分金によって作成されたものです。

家族のための相談電話

【相談時間】13時～16時
一人を抱えずお電話ください
月曜日 090-1366-7498
火曜日 080-3986-1980
水曜日 080-1729-1950
木曜日 080-1729-1950
金曜日 080-1729-1955
土・日曜日・祝日 9時～16時
080-1729-1955

賛助会員加入のお願い

令和8年度の賛助会員の募集を行います。皆様のご協力よろしくお願い致します。

年会費：個人 3,000円
団体 10,000円

郵便局振込先

加入名：（公社）福精連
口座番号：01760-7-84332

※福精連への賛助会費・寄付金は確定申告の際の寄付金控除の対象になります。

行事案内

【福精連大会】

8月28日（金）13時半～
ウエル戸畑 多目的ホール
「精神障害者ケアの脱家族化」
講師：塩満 卓 氏（佛教大学教授）
【拡大会議】【第2回 理事会】
10月21日（水）
【こころの健康づくり大会】
11月10日（火）
ウエル戸畑

【みんなねっと全国大会】長崎

11月20・21日（金・土）
ベネックス長崎ブリッジホール
開催形式：ハイブリット開催

【福岡県精神保健福祉センターと

共催研修会】

12月1日（金）

「家族と支援者が共に支え合うこと、よりよい関係性を築き、支援を続ける」仮題
講師：本山 智敬 氏（福岡大学教授）

スポーツレクリエーション大会

福岡・11月18日（水）さんさんプラザ
北九州・10月2日（金）アレアス
筑後・10月23日（金）朝倉体育センター

※会場が未定の会議、研修会については、当会からの案内をご確認下さい



令和8年度賛助会員の皆様

〈団体会員〉（敬称略・順不同）

・島手そうめん販売株式会社（3口）
・医療法人富松記念会 三池病院（2口）
・医療法人社団桜珠会 可也病院
・医療法人みらい 筑紫野病院
・（一社）福岡県障がい者スポーツ協会
・医療法人和光会 一本松すずかけ病院
・医療法人同仁会 乙金病院
・おほり心療クリニック
・社会福祉法人ほつと福祉会
・医療法人紫陽 ことからクリニック
・一般社団法人QIACT
・医療法人社団松和会 門司松ヶ枝病院家族会「みのり会」
・一般社団法人ちはやACT
・有限会社ティ・ケイ・ディ
・寿防災工業株式会社
・医療法人緑心会 福岡保養院
・医療法人 要会 かなめクリニック
・油山病院家族会「あけぼの会」

〈個人会員〉（敬称略・順不同）

（3口）・富田 義之・古屋 岳治
（2口）・一木 猛・辻田 雄一
（2口）・渡辺 美穂・伊原加津代
・小野 雄史・平川 ミドリ
・田川 裕二・廣津 輝男
・馬場 由紀子・樋口 靖則
・金子 義郎・犬束 義光
・戸田 俊彦・山本 由美
・舟越 洋・重富 裕司
・松本 國寛・一木 美千代
・下川 展弘・下川 富子
・平山 一雄・薦 忠之
・永末 雄大・川本 茂子
・早川 栄悟・阿部 利民
・野澤 重信・福田 清隆
・檜橋 恭一・白石 雄二
・山口 浩司・隅谷 和生
・今村 浩司・濱田 薫
・楢林 英晴
・田原 恭子
・六反 敏裕
・立山 利博
・國房 稔代
・内原 守良
・山田 純治
・井上 莞治
・佐藤 康子
・後藤 英一郎
・木原 聡
・乙村 未沙貴
・森川 久美子
・野田 栄市
・釜 完司郎
・國友 充康
・英晴
・恭子
・敏裕
・利博
・稔代
・守良
・純治
・莞治
・康子
・英一郎
・聡
・未沙貴
・久美子
・栄市
・完司郎
・充康

みなさまのご協力に心より感謝申し上げます。
（令和8年6月27日）



【編集】公益社団法人 福岡県精神保健福祉会連合会 〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町13-50 6F

【発行】QSK九州障害者定期刊行物協会 〒812-0068 福岡市東区社領1丁目12番4号

【年会費】3,000円（購読料含む）定価100円

繋がいを力に：高齢化と担い手不足を乗り越え、次世代へ繋ぐ

6月19日（金）午前、各地区家族会の代表者が集まる「家族会会長会議」が開催され、15名代表者が集まりました。この会議は、各会の活動状況や課題を共有し、お互いの良い取り組みを自身の活動に活かして家族会全体を活性化させたい、という強い思いから開催しました。

■共通する深刻な課題「高齢化」と「担い手不足」

各会からの報告では、多くの家族会が「会員の高齢化」と「役員のなり手不足」に直面していることが浮き彫りになりました。高齢の会長が一人で事務作業の大半をこなしている。高齢で運転ができなくなり、例会にいけない。若い世代の見学はあるものの入会・定着に至らない。といった課題が挙げられました。

その一方で、若い協力者が増え始めている会や、地域の会同士が統合して多様なサークル活動を展開している事例など、前向きな動きも報告されました。

いくつか話題にあがったテーマをご紹介します。

①連絡手段と情報共有の工夫

若い世代向けの「LINE」は高齢層への浸透が難しいため、班ごとの「電話連絡網」の導入や、郵送代削減のため「例会での手渡し」「ショートメール」の活用。若い方に協力してもらい、インスタで情報発信。

②家族による「家族学習会」の大きな効果

長年学習会を継続している会からは、学習会を通じて新規会員に繋がっている。※家族学習会の詳細は下段研修会に掲載

③新しい層（パートナー・兄弟姉妹）への対応

親世代とは悩みの質が異なるため、今後はブロック単位で「兄弟の会」「パートナーの会」といった交流の場を検討していく必要性ができました。

普段、他の家族会の状況を知る・交流する機会が少ないのが現状です。今回のように横のつながりを大切に、情報共有を図りながら、各家族会が円滑に運営できるよう協力し合っていきたいと思います。

家族会会長会議

6月19日



6月19日午後、「家族による家族学習会」をテーマに研修会が開催され35名の参加の方が参加されました。このプログラムは、精神疾患を持つ人の家族がファシリテーターとなり同じ立場にある家族の参加者を支え、学び合う日本初のピア教育プログラムです。学習会の特徴としては、毎回同じメンバー（10名程度）で全5回開催。「じょうずな対処」今日から明日へ」のテキストを読みながら、体験を語り合います。その中で、疾患・治療・回復・対応の仕方など知識や知恵を共有しながら、共に学び合うものです。

本研修会では、異なる立場の家族から学習会を通じた体験談を語ってくださいました。

親の立場から「私だけではない」と実感したこと、過去の葛藤に区切りがつき、学習会修了後も「同窓会」を開催し、連帯感を維持されているとの事。

きょうだいの立場から「関わりたくない」という葛藤や孤独を抱えていましたが、学習会で本音を語ることで「自分のできる範囲で良いんだ」と自分を認められるようになったとの事。

配偶者の立場から「育児中に妻が発症し、孤立して離婚がよぎるほど追い詰められましたが、学習会で妻の気持ちを汲み取る大切さを学び、現在は適切な距離で関係を構築されていらつしやるとの事。

家族学習会参加後は、不安や心配が軽減し、エンパワメント（力を取り戻すこと）が高まる効果が認められています。特に担当側は、自身の辛い体験が他者の役に立つ「利他的援助行動」を通じて、新しい生き方を見つめる契機となっています。家族学習会は、参加者と担当者の双方が元気づけられるプログラムです。本研修会で、ご自身の貴重な体験や心の葛藤を勇気をもってお話ししてくださった皆様、本当にありがとうございました。

現在、福岡県内5つの家族会で開催されており、各会の活性化にもつながっています。家族学習会にご興味のある方は福精連事務局までお問合せください。また当会のホームページにも開催情報を掲載していきます。



「家族による家族学習会」研修会

家族が家族を支え、共に歩む

通常総会（決算）5月22日

第31回通常総会（決算）が福岡県中小企業振興センターにて開催されました。



檜橋会長の開会挨拶に続き、福岡県こころの健康づくり推進室長福田様より来賓挨拶をいただきました。精神障害者の自立支援や地域包括ケアシステムの構築、新たな地域医療計画についての説明が述べられました。

令和7年度福精連表彰では、6名の方に授与させていただきました。（一面掲載）

議長に田村理事を選出し、議事に入りまし

た。

第1号議案で令和7年度事業・活動報告案、第2号議案で令和7年度決算案、

提案され、決算報告では、判田監事より監査報告をいただきました。

いずれの議案も承認されました。皆様のご協力に感謝いたします。

第2部では「わたしのお守り総合保障制度」説明会を開催しました。年齢・障がいの程度・病歴を問わず加入できる傷害保険の概要や、過去の支払い事例について学び、

関心を深める機会となりました。同保険に關してご質問等ございましたら福精連事務局までお問合せください。



「虐待防止研修会&身体拘束適正化研修会」を開催しました。

令和8年度虐待防止&身体拘束適正化研修会

6月18日（木）、オンライン形式にて「虐待防止研修会&身体拘束適正化研修会」を開催しました。

本研修は法律で全事業所に義務付けられている重要なもので、本年度は講師に福岡県社会福祉士会の花田敏秀氏をお迎えし、支援の質の向上と安心できる職場環境づくりについて学びを深めました。

■講義内容：支援の質を高める環境づくりと身体拘束の3要件

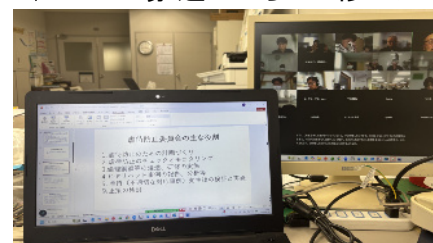
講義では、単に虐待を見つけないだけでなく「支援の質を上げる」という前向きな視点で委員会（虐待防止・身体拘束適正化検討委員会）を活用することの大切さが示されました。環境づくりと具体的対策、風通しの良い職場づくりを進めるとともに、スマホの持ち込み禁止（性的虐待防止）やダブルチェック体制（経済的虐待防止）といった具体的なルール作りの必要性が挙げられました。

身体拘束の適正化 やむを得ず身体拘束を行う場合は、「非代替性」「切迫性」「一時性」の3要件をすべて満たす必要があります。拘束が必要となった背景や状況を詳細に記録し、委員会で検証・周知することが求められます。

■グループワーク：事例検討

暴力的な利用者に対応した事例をもとにグループワークを行いました。単に取り押さえる（身体拘束する）のではなく、暴力に至る前の予兆の把握や主治医・家族との事前連携、発生後の本人の心のフォロー、そして「職員を一人の人間として守る視点」の大切さを確認しました。

花田氏からは「唯一の正解があるわけではなく、事業所で検討し、話し合うプロセスそのものが最も大切である」との総括をいただきました。



「トライアングル」完成見学会

6月12日、社会福祉法人福岡あけぼの会「就労継続支援B型事業所トライアングル」の完成見学会に伺いました。



新施設はバリアフリーの明るい作業室や一新された厨房など、利用者の皆様が生き生きと過ごせる素晴らしい環境でした。式典では、昭和45年の家族会立ち上げから偏見のない社会づくりに尽力された先達の歩みや短歌「ひたすらに ただひたすらに祈りつつ わが子救いたまえと暗がりに立つ」が紹介され、創設時の熱い想いと理念が現在の法人へ脈々と受け継がれていることを実感する、温かい見学会となりました。

外見からは分がにくい障がいの「合理的配慮」啓発動画

福岡県では、障がいを理由とする差別の解消と合理的配慮の提供を進めています。

外見からは障がいがあることが分がりにくい人への合理的配慮についてまとめた動画が作成され、県ホームページに公開されました



URL : <https://www.pref.fukuoka.lg.jp/contents/hairyo-douga2.html>